

「滋賀県産業振興ビジョン〈仮称〉」の策定検討にむけての主な論点の整理について

項目および主な検討事項等	第1回目の審議会における「キーワード」	特記事項
<p>1. 本県の経済・産業の現状をいかに捉えるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○滋賀県の現状をどう分析するか。 ○本県を取り巻く社会情勢の変化をどう見るか。 ○他に、抑えておくべき事項や数字などはあるか。 		
<p>2. 本県の特徴は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本県の特徴を「強み」、「弱み」として捉えるとどう整理できるか。 ○これまで特徴とされてきたことを改めて見直す必要があるのではないか。 ○あまり知られていない特徴はないか。 (隠れた素材や潜在的なマーケットなどがあるのではないか。) 	<p>「人口減少」、「高齢化」、「環境」、「健康」、「エネルギー」、「水」、「M字カーブ」、「バイオ」、「医療」、「環境先進県」、「福祉先進県」、「モノづくり先進県」、「モノづくりの拠点」、「滋賀県は魅力的」、「琵琶湖」、「豊富な歴史資源」、「控えめな県民性」、「従業員30人から300人のいわゆる地域をリードしている中核的企業」、「地域コミュニティを支えるソーシャルビジネス」、「災害時に地域を支える建設業者」、「ポテンシャル」</p>	<p>《参考》 現行「戦略プラン」の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ①環境への取組 ②モノづくり県としての歩み ③人口増加局面における少子高齢化の進行 ④外需の影響を受けやすい産業構造 ⑤滞在型観光客の少なさ ⑥滋賀で育まれた豊かな財産 ⑦住みやすさ・教育研究環境・交通の便 ⑧イメージが希薄
<p>3. 本県経済・産業の目指す姿（あるべき姿）をどう位置付けるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目指す姿を概ね10年後に設定することでよいか。 ○どういった形で目指す姿やあるべき姿、その状態を描いていくのか。 ○数値的な目標の設定は必要か。 	<p>「元気な県」 「自信を持っていただけるような県」 「滋賀といえば、誰にでもわかってもらえる県」</p>	
<p>4. ビジョン推進に向けての基本的な姿勢や考え方（基本理念）に何を謳うか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○盛り込むべき視点やポイントは何か。 ○滋賀らしさをどのように盛り込んでいくのか。 	<p>「他の産業界の力をつなぎ合わせ」、「女性」、「縦横斜めの横串」、「子育て支援の立場」、「いかに国富を増やすか」、「住民目線での取り組み」、「何をしたいのか、どういうふうになりたいのか」、「発信」、「変革と創造」、「地域の視点」、「基盤づくり」</p>	<p>《参考》 中小企業振興の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中小企業に対する認識と姿勢 ②小規模零細事業者への配慮 ③地域づくりの観点 ④関係者の連携強化 ⑤特色を生かした施策の展開
<p>5. 施策の基本的な方向として何を定めるか、また、どういった分野をどのように振興していくのか？</p>	<p>「農商工」、「グリーンイノベーション」、「ライフイノベーション」、「グローバル」、「未来の滋賀県の人材を育てる」、「コミュニケーションのたくましい子供」、「いかに強みを生かすか」、「強みをいかに選ぶか」、「世界ブランド」、「人材の誘致」、「今後地域を担う人たちの育成」、「ライフスタイルに合わせた働く場の確保」、「部品の地元からの調達」、「国の施策と連動」、「小さなコミュニティづくり」</p>	<p>《参考》 戦略プラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「環境」「医療・健康」「モノづくり基盤技術」「にぎわい創出・観光」の4つの戦略領域 ②「グローバル化」「人財育成」「連携強化」の3つの分野横断戦略 <p>※産業振興新指針 3KBI</p>
<p>6. 産業振興を戦略的に展開するにあたって、どういったプロジェクトを推進するか？</p>		<p>《参考》 県版経済振興特区制度(H16～22) 水環境ビジネス推進 (H23～)</p>
<p>7. 推進体制のほか、成果を図る指標や目標、評価方法をどうするか？</p>	<p>「わかりやすく見せるやり方」、「1年1年チェックできる体制」</p>	